

社会福祉学科

取得可能な資格

社会福祉士(国)受験資格、精神保健福祉士(国)受験資格、
スクールソーシャルワーカー資格(課程修了証明)^{※1}

社会福祉主事任用資格、児童福祉司任用資格^{※2}、身体障害者福祉司任用資格、知的障害者福祉司任用資格

※1 所定のカリキュラムを修了し、社会福祉士または精神保健福祉士の国家試験に合格することで、社団法人日本社会福祉士養成校協会の修了証が交付されます。
※2 卒業後指定施設での実務経験(1年間)が必要ですが、社会福祉士国家試験若しくは、精神保健福祉士国家試験に合格している場合は実務経験が不要となります。

特長 1

就職者の約8割が福祉・医療系専門職。
豊富な実習先と国家試験対策で福祉職としての確かな力の獲得と資格取得を強力にバックアップします。



少人数制教育

入学直後から始まる演習では、10名程度の少人数で学習します。各種事例での討論や現職のプロを招いての講演、現場の見学を通して相談援助職に必要な様々な価値観を丁寧に身に付けていきます。



充実の実習教育システム

社会福祉が対象とする多様な領域の実習先と、その領域の専門教員が揃っています。また、実習時期を2回に分け、実習後の振り返りと課題の抽出、その対策の検討と実践が有意義な経験に繋がるようにしています。



国家試験対策

社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験合格に向けて4年次からは対策講座を開講。試験の出題範囲に応じた各領域の専門教員による講義と個別指導で、国家試験合格に向けて強力にバックアップします。

特長 2

「社会福祉士」「精神保健福祉士」「スクールソーシャルワーカー」
トリプルライセンスの取得が目指せます。

児童・障がい・高齢・医療・地域・精神保健等の福祉の多様な領域で力を発揮できるソーシャルワーカーの証。
トリプルライセンスを持つ福祉のプロへ。

社会福祉士とは？

心身の障がいや経済的な問題などから日常生活に支障をきたし、保護や援助を必要とする人を支えます。福祉に関する様々な相談に応じ、各種制度・施設の利用方法などをアドバイスしながら問題を解決。当事者だけでなくその家族も含め様々な福祉サービスの中から本人・家族に対し最も適切なサポートを行います。また、福祉サービスの開発にも携わります。

精神保健福祉士とは？

精神障がい者に対して社会復帰に向けての援助を行います。退院後の住居や再就労についての支援、各種の給付制度、税の減免措置などの情報提供、生活技能を身に付ける訓練なども担います。医師や看護師、作業療法士などの医療チームの調整役として活躍することもあります。

スクールソーシャルワーカーとは？

学校をはじめ、家庭、児童相談所などの行政機関などと連携しながら、子どもを取り巻く環境を調整し、福祉相談業務などに従事します。保護者の経済状況や生活面において援助が必要な場合など、社会保障、生活保護の提供などの自立支援相談も担当します。専門的な知識が求められるため、社会福祉士や精神保健福祉士などの有資格者になることが一般的です。

福祉・介護 × 保育・教育 × 心理 × 医療技術・リハビリ

つながる、ひろがる、チーム支援の学び。



学校法人 薫英学園

大阪人間科学大学

Osaka University of Human Sciences

人間科学部

●社会福祉学科 ●医療福祉学科[介護福祉専攻/視能訓練専攻] ●子ども保育学科
●健康心理学科 ●医療心理学科[臨床発達心理専攻/言語聴覚専攻] ●理学療法学科

入試広報センター TEL.06-6318-2020 | 〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 | <https://www.ohs.ac.jp/>



時間割で見る対人援助のプロを目指す4年間

社会福祉士



資格取得と就職だけを目的にしない、

社会福祉士として活躍するために本当に必要な「価値ある能力」の獲得。

派手な教育ではないけれど、「成長に本気」な4年間が大阪人間科学大学にあります。

プロフェッショナルを目指すみなさんにお届けする

社会福祉士になった一人の学生の軌跡。

ぜひご覧ください。



成長に、本気。

大阪人間科学大学

成長は、本物。



大上 詩織 さん
社会福祉学科 2018年3月卒業
取得資格：社会福祉士、精神保健福祉士、
スクールソーシャルワーカー
就職：大阪市（福祉職）
大阪府・私立金蘭会高校出身

大学に進学する前の話ですが、私の身近で児童虐待に関する悲しい事件が起こったことがあり、どうして虐待が起こるのか、自分に何かできることはないかという想いが強く残りました。その後、高校内で実施された進学相談会で、社会福祉士やスクールソーシャルワーカーという子どもを支える福祉職の存在を知り、将来の目標はこれだと思い、医療と福祉に特化した大阪人間科学大学に入学しました。

大学の授業で印象的だったのは、スクールソーシャルワーク演習です。事例を基にグループで話し合うのですが、その過程でそれぞれの意見を尊重しつつ、話を進め、解決に導いていくまでの大変さを学ぶことができました。学外では、小学校でのボランティア活動に参加し、授業に集中できない子どもや発達障がいのある子どものサポートに取り組み、子どもたちを注意深く見て、何をすれば気持ちよく学校生活を過ごすことができるのかを考え、かかわることができるようになりました。

また、社会福祉学科の魅力でもある社会福祉士、精神保健福祉士、スクールソーシャルワーカーの三資格の同時取得を私が目指したのは、より多くの知識を得たかったからです。それぞれの資格に対応する現場の実習に参加させていただき、クリアすべき課題も増えてきましたが、現場の利用者さんや専門職の方との出会いから得られた経験や知識も多く、頑張って良かったと思っています。卒業前の国家試験に向けた勉強については、それを始めた頃は多少の不安はありましたが、国家試験対策講座に参加しつつ、普段の授業をしっかりと聞き、定期試験も着実にこなすことで、少しずつ自信につながり、落ち着いて試験に臨むことができました。

私は、今年の春から大阪の母子生活支援施設で働かせていただきます。施設の利用者さんは、精神上的課題や子どもとの関係で悩みを抱えておられますので、大学で取得した三つの資格を活かして、子どもだけでなく、保護者の方にも目を向けて、親ならではの辛さを理解し、力になりたいと思っています。受験生みなさん、受験の時期は、様々な不安を抱えると思いますが、自分のペースで、着実に継続していく事が大切です。頑張ってください。

学生 × 教員



中川 千恵美 教授
所属：社会福祉学科
専門分野：子ども・家庭福祉、社会福祉援助技術論
保有資格：社会福祉士、精神保健福祉士

大上さんは自分でやるべきことを、計画的に進めていける学生でした。3年次生からは、社会福祉・精神保健福祉・スクールソーシャルワークの三つの実習に率直に向き合っていたことが、彼女の成長につながったと思います。3年次後期には、課外活動として摂津市学習支援事業に、学生スタッフとして週1回通いながら、国家試験対策の勉強もしていました。また、彼女は、学習支援に関連したイベント企画や検討会議にも積極的に関わってくれました。4年次生となり、卒業論文の作成、さらに2つの実習準備、学外での学習支援活動と国家試験対策の勉強とかなり忙しい毎日を過ごしていたはずですが、自己管理をしっかり行い、いずれの取組も妥協することなくやり遂げていました。

4年次後期の実習を終了した後も彼女からの申し出で、小学校でのボランティア活動を継続しています。主体的に学ぼうとする彼女の姿からは、学校を軸にしながら、子どもたちの置かれる環境への理解を深めたり、視野を広げようとする意欲が伺えました。

資格取得に必要な知識面の専門科目にはじまり、各実習に求められる技術を学ぶ相談援助演習、それらを統合する実習指導・実習・実習事後指導は、福祉専門職を志す学生の成長に大きく影響する大切な学びです。彼女の場合には、社会福祉士資格にかかわる実習が、障がい児支援に向き合う援助者の価値観を獲得する機会になったと思いますし、その後、卒業論文で障がい児受容をテーマに取り上げ、さらに考察を深めていったのも、これらの実習での経験がきっかけかもしれません。

社会福祉学科で学ぶ分野は、児童・高齢・障害・医療・地域・生活困窮・精神保健分野・教育現場と、とても多様です。大学での学びは、利用者さんに寄り添うための人間力やコミュニケーション力を磨きます。そして困った状況で生活する方の問題解決を進め、必要となる各種制度や法令の知識も学びます。福祉の学びは、私たち自身はもとより、人の生活力を高め、豊かにしていく社会づくりにも貢献します。子どもや家族の暮らし応援から、人生の達人となるようなダイナミックな学びにチャレンジしてみませんか！

大上さんの時間割 153単位修得(卒業要件単位数124単位)

福祉分野の多様性を知る。コミュニケーション力をはじめ、支援者に必要とされる基礎を培う。

◎1年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1			オンラインワーク ジョブ* (英語)Ⅰ		人間科学 概論	
2	相談援助 演習Ⅰ	ソーシャル マナー	社会学	福祉情報論	医学知識	
3		相談援助の 基礎と専門職Ⅰ		オンラインワーク ジョブ* (中国語)	障害者 福祉論	
4	FA演習Ⅰ	オンラインワーク ジョブ* (英語)Ⅰ	相談援助の 基礎と専門職Ⅱ		日本語基礎	
5	社会福祉Ⅰ					

◎1年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1	社会福祉Ⅱ			FA演習Ⅱ		
2	相談援助 演習Ⅱ		児童・家庭 福祉論	老年心理学		
3		オンラインワーク ジョブ* (英語)Ⅱ		心理学理論と 心理的支援	文章表現法	
4	数学基礎	教育心理学		人権と倫理		
5			精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開Ⅰ			

現場ゲストの講義や見学で関心分野を確定。相談援助職に必要なスキルと価値観を身に付ける。

◎2年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1	相談援助 演習Ⅲ	精神保健の 課題と支援Ⅰ	公的扶助論	プレ演習Ⅰ	相談援助の 理論と方法Ⅱ	
2	教育相談の 理論と方法	相談援助の 理論と方法Ⅰ	地域福祉の 理論と方法Ⅰ			社会 保障論Ⅰ
3			社会調査 の基礎		高齢者 福祉論Ⅰ	教育 制度論
4			精神保健福祉 に関する制度 とサービスⅠ			
5						

◎2年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1	相談援助 演習Ⅳ	精神保健の 課題と支援Ⅱ		プレ演習Ⅱ		
2	精神保健福祉 相談相談援助 の基礎	地域福祉の 理論と方法Ⅱ	更生保護 制度			社会 保障論Ⅱ
3		就労支援 サービス			保険 医療論	
4			精神保健福祉 に関する制度 とサービスⅡ		権利擁護と 成年後見	
5	相談援助 実習指導Ⅰ	福祉サービスの 組織と経営			高齢者 福祉論Ⅱ	

福祉現場でマッチング。大学で学んだ知識や技術を実習での経験と統合し、専門性を深める。

◎3年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1						
2	精神保健福祉 援助演習(基礎)	精神疾患と その治療Ⅰ			精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開Ⅱ	
3	相談援助 実習指導Ⅱ	相談援助の 理論と方法Ⅲ	スクールソーシ アルワーク論			
4			プレ・スクール ソーシャルワ ーク実習			
5	精神保健福祉 援助実習指導Ⅰ	人間福祉学 演習Ⅰ				

◎3年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1					精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開Ⅲ	
2		精神疾患と その治療Ⅱ			相談援助の 理論と方法Ⅳ	
3	相談援助 実習指導Ⅲ	精神保健福祉 援助実習指導Ⅱ				
4			福祉行政財 政と福祉計画		社会福祉史	
5		人間福祉学 演習Ⅱ				

更に目指す福祉現場とのマッチング。1月実施の国家試験の合格に向けて対策を進める。

◎4年次(前期)

	月	火	水	木	金	土
1		精神保健福祉 の理論と相談 援助の展開Ⅳ				
2		スクールソーシ アルワーク 演習				
3		精神保健福祉 援助演習Ⅰ				
4		人間福祉学 演習Ⅱ				
5			スクール ソーシャルワ ーク実習指導①			

国家試験合格に向けて、国家試験対策講座と先生の個別指導を中心に対策を進めました。

◎4年次(後期)

	月	火	水	木	金	土
1		精神保健福祉 援助実習指導 Ⅲ			社会福祉 特論	
2						
3		精神保健福祉 の生活支援			精神保健福祉 援助演習Ⅱ	
4		人間福祉学 演習Ⅱ	スクール ソーシャルワ ーク実習指導①			
5						



STUDENT'S
VOICE

基礎的な科目を中心に、3年次、4年次の実習のことも考え、たくさん単位を取るようになりました。後期からアルバイトも始め、平日は勉強、休日はアルバイトとメリハリをつけて過ごしました。

専門的な科目がかなり増えます。単位を落とすことのないように、気を引き締めて取り組みました。また、児童福祉の分野に進むことを考えて、子どもたちとかわることができるとボランティア等の課外活動を始めました。

6月と11月に実習があり、実習準備、実習後のレポートの提出と発表、先生からのアドバイス、4年次の実習準備も含め、実習を中心とした1年間でした。後期は週に1度のペースで小学校へボランティアにも通っていました。

精神保健福祉援助実習、スクールソーシャルワーク実習、就職活動、卒業論文、国家試験対策とやる事が多く、授業も残っていましたが、友人や先生方に支えられながら、一つひとつ丁寧に取り組むことで乗り切れました。